

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ぶらんこ		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 12月 22日		～ 令和8年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常勤職員の中では、情報共有の機会を定期的に設けている。	・定期職員会での情報共有	・大事なところが分かりやすい記録様式。
2	適切な支援を行う為の研修を受ける機会がある。	・定期的なスーパーバイズ ・研修を受けやすい環境づくり	・研修内容を受講にとどめず、振り返りや共有を通して実際の支援場面へ活かしていく仕組みづくりを進めていく。
3	保護者との、アセスメントを用いた利用児の状態についての共有。	・定期面談等で、保護者と話を出来る場を設けている。	・アセスメント結果を専門的な表現に偏らず保護者に分かりやすく説明し、子どもの状態理解と支援方針の共有につなげていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・関係機関との情報共有の機会が少ない。	・担当者会以外で、関係機関と情報共有する場が少ない。	・関係機関と定期的に情報共有できるよう努めていく。
2	・バリアフリーでない場所や、活動によっては狭く感じる場所がある。	・スペースの確保や、導線の整理。	・子どもが過ごしやすい環境づくりをしていく。
3	・活動の立案等、個々の力に頼ることが多い。	・個々人の負担が大きくなる。	・支援の検討、書類の作成などチームで行う仕組み作りをしていく。

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所ぶらんこ

公表日 令和8年 2月 24日

利用児童数 7

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	0	0	1		児童発達支援と共有する形で整えております。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	0	0	1		保護者向けの学習会、茶話会など実施しております。保護者の皆様にもわかりやすくご案内をしていきたいと思っております。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3	0	0	0			

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	0	0	0		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年

2月

24日

児童発達支援事業所ぶらんこ

利用児童数

7

回収数3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	0	0	・療育での本児の対応を知り、園でも取り入れて支援することに心掛けています。 ・対象児童の対応の仕方など、わかりやすく、取り組みやすいことを教えて頂きました。	・わかりやすくお伝えできるよう、努めていきたいと思います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	0	0	・発達検査の結果等詳しく説明あり、特性を理解し支援へとつなげることが出来ています。	・少しでも、現場の先生方の支援に役立てることがお伝えできればと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	3	0	0	・いつも丁寧に状況を提供して下さりありがとうございます。 ・我々の質問にも丁寧に教えてくださって助かりました。	・先生方に質問をしていただくことで、お話を深めていくことが出来たと思います。ありがとうございました。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	0	0	・保護者が連携されているか不安だった点が解消された様子でした。 ・今の対応の仕方で良いのだと確認できたのが良かったです。	お子様の成長、課題や先の見通しと一緒に持ちながら発達支援を行っていきたいと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	0	0	・とても満足しています。	次年度もサービス向上について検討していきたいと思います。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・学期1回ずつのモニタリングでしたが、担当の訪問支援員の方とざっくばらんに話し合えたことは学校にとっても対象児童にとっても良かったと思う。					ご意見ありがとうございます。 訪問先の施設様には、いつも快く受け入れてくださりありがとうございます。 先生方のご意見を頂きながら、一緒にお子様の発達支援に向かっていけたらと思います。 今後ともよろしくお願い致します。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所ぶらんこ		公表日 R8年 2月 24日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 運 備 營	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・児童発達支援と共有している。	・必要があれば改善していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・やや少ない。訪問スケジュールが組みづら い状況。	・他事業（児童発達支援）の職員を確保し、 訪問支援員が訪問に出られるようにしてい く。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		職員会で目標設定、振り返りを行っている。	・今後も広く職員が参加できるよう努めてい く。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け評価表の結果について職員会で 改善点などの討議を行っている。 ・茶話会、あおぞら会などで挙げて頂いたご 意見を大切にしている。	・保護者が意見を出しやすい環境づくりに努 めていく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		・職員会にて、保護者に意見等を把握する機 会を設けている。	・職員が意見を出しやすい環境作りに努めて いく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	・第三者評価は行っていない。 ・あおぞら会等で外部の方のご意見を伺う機 会を設けている。	・今後も外部の方のご意見を伺う機会を設け ていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的にスーパーバイズ研修を行ってい る。 ・外部研修を受ける機会を設けている。	スーパーバイズ研修を続けていく。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		・保護者からの聞き取りや子どもの行動観 察、検査の結果をもとに、計画の見直しを行 うよう努めている。	・保護者と情報共有を行い、必要に応じて見 直しを行っていく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員会で話し合いを行い、職員間で共通理 解を持てるよう努めている。	・今後も、職員間での共通理解を図ってい く。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		○	訪問を進める中で、訪問先のニーズを確認し ている。	保護者にも了承を得た上で、事前に訪問先の ニーズの確認を行っていく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		・支援計画を確認しながら支援を行ってい る。	・今後も続けていく。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・専門職が必要な検査を行っている。 ・行動観察の内容を記録し、アセスメントに 用いている。	・今後も続けていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。		○	子どもに対する支援、施設に対する支援、家 族に対する支援が曖昧に設定されている。	3つの支援について明確化していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		・支援計画を確認しながら支援を行ってい る。	・今後も続けていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。		○	・支援内容については定期職員会の中で共有 している。 ・支援開始前に内容を確認を図れるよう努め ている。	・今後も続けていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・訪問した職員は支援終了後に記録を行っ ている。 ・定期職員会の中で振り返りを行っている。 る。	・支援実施日には簡単な報告程度で、振り返 りまでは行っていない。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		・訪問先の理念、支援手法を尊重するよう努 めている。	・今後も続けていく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		・毎回訪問後に記録をしている。 ・職員会で、支援の検証を行っている。	・今後も続けていく。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。		○	・訪問先の以降の確認やモニタリングが少な い。	・訪問先との連携を密にしていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・訪問支援員か、児童発達管理責任者が出席するようにしている。	・今後も続けていく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医療機関を授産新する際に情報提供を行っている。	・今後も関係機関との連携に努めていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学連絡会を実施し、関係機関、就学先と情報共有や支援の引継ぎを行っている。	・今後も続けていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部の講師から定期的にスーパーバイズを受けている。 ・外部の研修会に参加している。	・今後も続けていく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・参加している。	・今後も続けていく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・定期的に家族面談を行っている。	・今後も続けていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・年に2回、外部講師を招き保護者向けの学習会を実施している。	・今後も続けていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行っている。	・今後も続けていく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・事業の趣旨の説明、支援計画の共有をしている。	・わかりやすい説明に努めていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリングの際に、ニーズを把握するように努めている。 ・家族面談等で、意向の確認に努めている。	・今後も、子どもや家族の意向を確認し、尊重していく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者と連絡を取り合い、来所して頂き説明を行っている。	・今後も続けていく。分かりやすい説明に努めていく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・年に2回、家族面談の機会を設けている。 ・必要に応じて面談等を行っている。	・家族が相談しやすい環境づくりに努めていく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者茶話会を実施している。	・今後も保護者同士が交流できる機会を造れるよう検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談窓口を設置し、保護者にも周知している。	・今後も続けていく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		保育所等訪問支援については、特に発信していない。	・必要や要望があれば検討していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報情報は慎重に取り扱っている。	・定期的に個人情報の取り扱いについて確認し、周知徹底していく。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・子どもの状態を見立て、わかりやすい方法で提示をしている。	・今後もわかりやすい情報伝達等に努めていく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・訪問支援時に対応している。	・相談しやすい関係づくりに努めていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・訪問先施設の体制など確認しながら行っている。	・施設によって体制が違うので、訪問先の施設に負担にならないよう配慮していく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・電話での報告、面談での報告を行っている。	・今後も続けていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報情報は慎重に取り扱っている。	・定期的に個人情報の取り扱いについて確認し、周知徹底していく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・経験年数の長い職員や、専門職が支援にあたっている。	・研鑽を積み、適切にニーズに応えられるよう努めていく。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを作成し、保護者が閲覧できるように玄関に設置している。	・年に1回内容を見直していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、それに応じて研修や訓練を行っている。 ・年に1回安全計画の見直しを行っている。	・今後も、計画の見直し、訓練を行っている。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例集を作成している。 ・事例があった際には当日記録し、定期職員会の中で再発防止に向けた方策について検討している。	・今後も続けていく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・職員会の中で実施している。 ・外部の研修に参加している。	・今後も続けていく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・危険回避のため身体拘束を行う可能性があるケースについては、支援計画に記載し、保護者に説明を行い、同意を得るようにしている。	・保護者への説明を丁寧に行っていく。 ・危険回避のための対応については、職員間でよく話し合い検討していく。